

地上 252m から夢洲を眺める

大阪万博の環境アセスメント「方法書」への意見をまとめるため、1年ぶりに咲洲のコスモタワーに行った。55階の展望台は地上 252m で、390ヘクタールの夢洲全体を望める。神戸六甲の山並みや明石海峡大橋、淡路島も見ることができた。



2枚目のコンテナターミナルの向こうが万博会場予定地。万博に間に合わせるため、急速埋め立てが行われている。3枚目のコンテナターミナルの向こうがIR(カジノ)予定地。4枚目下の丸い建物（なにわの海の時空間、2013年閉館）手前のトンネルから夢咲トンネルを通して夢洲まで車が走っている。ここに地下鉄中央線が延伸される予定だ。



4枚の写真からも、夢洲での万博開催に多くの課題が見えてくる。災害リスク、環境への影響、コンテナターミナルやIRという名のカジノと隣り合わせ、アクセスなどだ。

(2019年12月29日)